

04 大海国高第 872 号

令和 4 年 9 月 25 日

生徒・保護者 殿

都立大島海洋国際高等学校

校長 川口 元三

実習船「大島丸」波浮港出入港に関して

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご支援を賜りして誠にありがとうございます。引き続き、ご支援のほどよろしく願いいたします。

さて、実習船「大島丸」の波浮港出入港に関してご報告をいたします。年度当初の運航計画では、浚渫工事完了以降（運航管理会社の要望を踏まえた波浮港航路（-4.0m）整備工事）に波浮港への出入港訓練を経た後、波浮港母港とした運航を行うこととしておりました。しかし、運航管理会社と協議した結果、現状では以下の条件が整うまでは、波浮港の出入港を実施できないと回答されました。このため、波浮港で計画していた大島丸での実習が実施できなくなり大変申し訳ありません。一日も早く大島丸が波浮港を母港とした教育活動が出来るように努力してまいります。

波浮港へ出入港できる条件

1. 波浮港の浚渫工事が完了しても、波浮港出入港に必要な余裕水深を確認する測量データ（海図改正用も含めた）をもって、安全性の確認がとれること。

問い合わせ

都立大島海洋国際高等学校

副校長 早川 忠憲

Tel 04992-4-0385